

だて
な！

さすけね
プロジェクト

～あんぽで繋ぐ伊達市の未来～

福島県立保原高等学校 課題研究





伊達市



**福島県北部に位置し
福島市に隣接
高低差がある盆地特有の
地形で果物がおいしい**

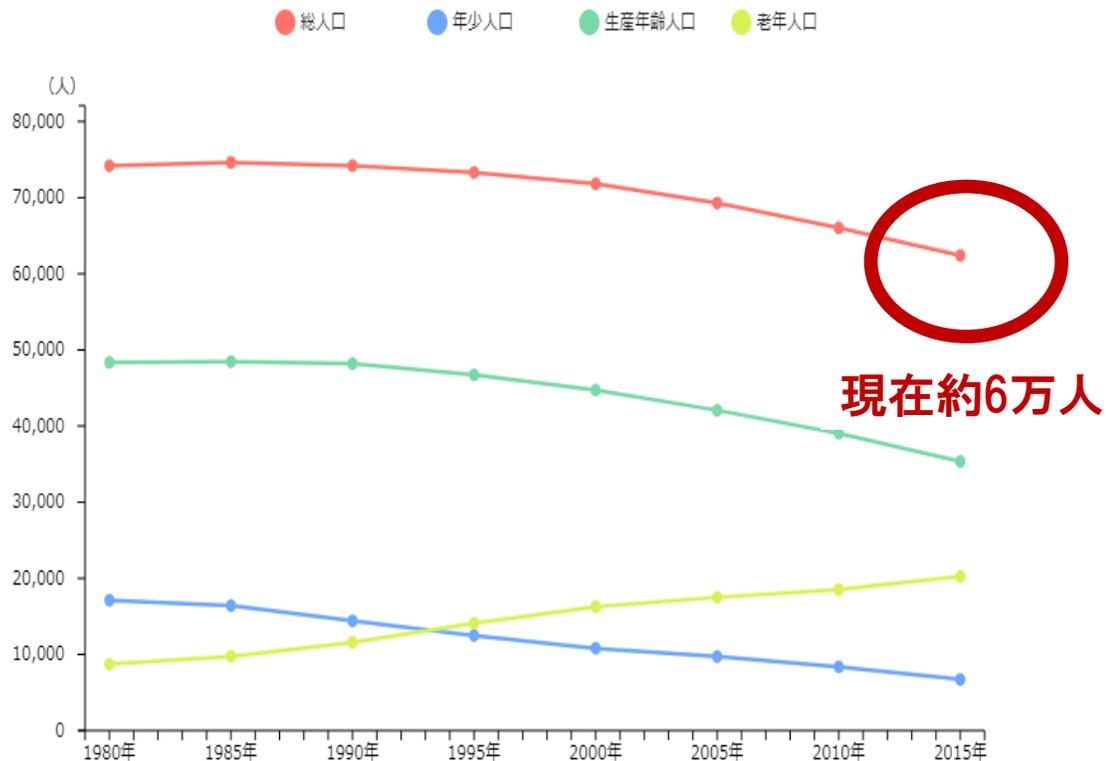
**全国有数の収穫量
がある桃の産地**

**名産のあんぽ柿
発祥の地**

有名な伊達鶏



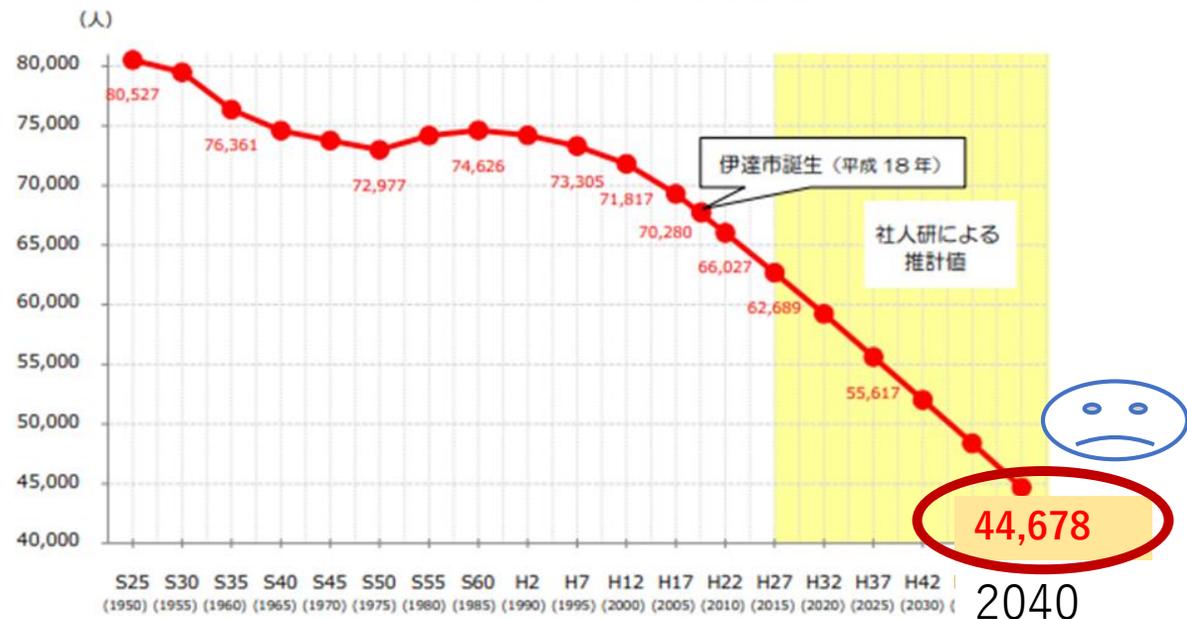
リーサスによる 伊達市の人口推移



← 実績値

迅速に進む少子高齢化・人口減少は、伊達市においても大きな問題である。

伊達市の人口の推移と将来推計



資料：平成 22 年 (2010) 年までは国勢調査、平成 27 年 (2015) 年以降は社人研

単位(人)

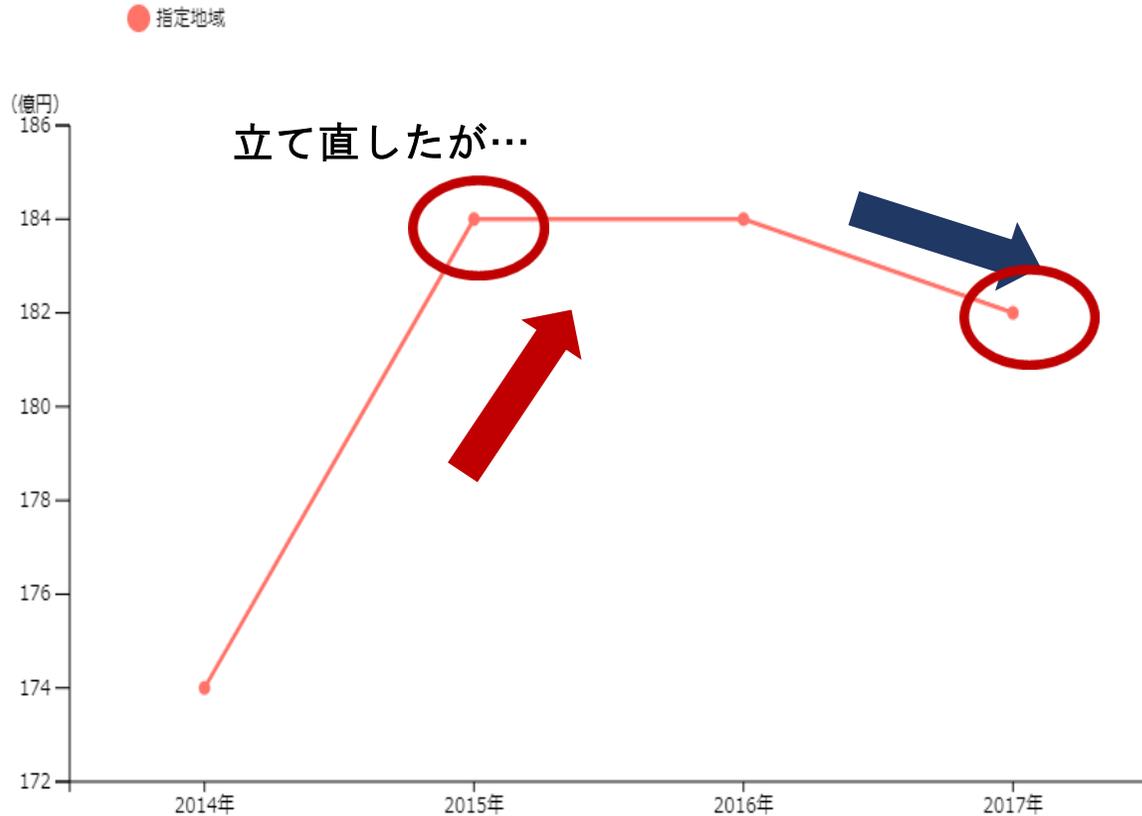
区分	国勢調査人口												
和暦	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
西暦	1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
人口	80,527	79,480	76,361	74,600	73,767	72,977	74,186	74,626	74,200	73,305	71,817	69,289	66,027

単位(人)

区分	社人研による推計					
和暦	H27	H32	H37	H42	H45	H52
西暦	2015	2020	2025	2030	2035	2040
人口	62,689	59,234	55,617	52,021	48,383	44,678

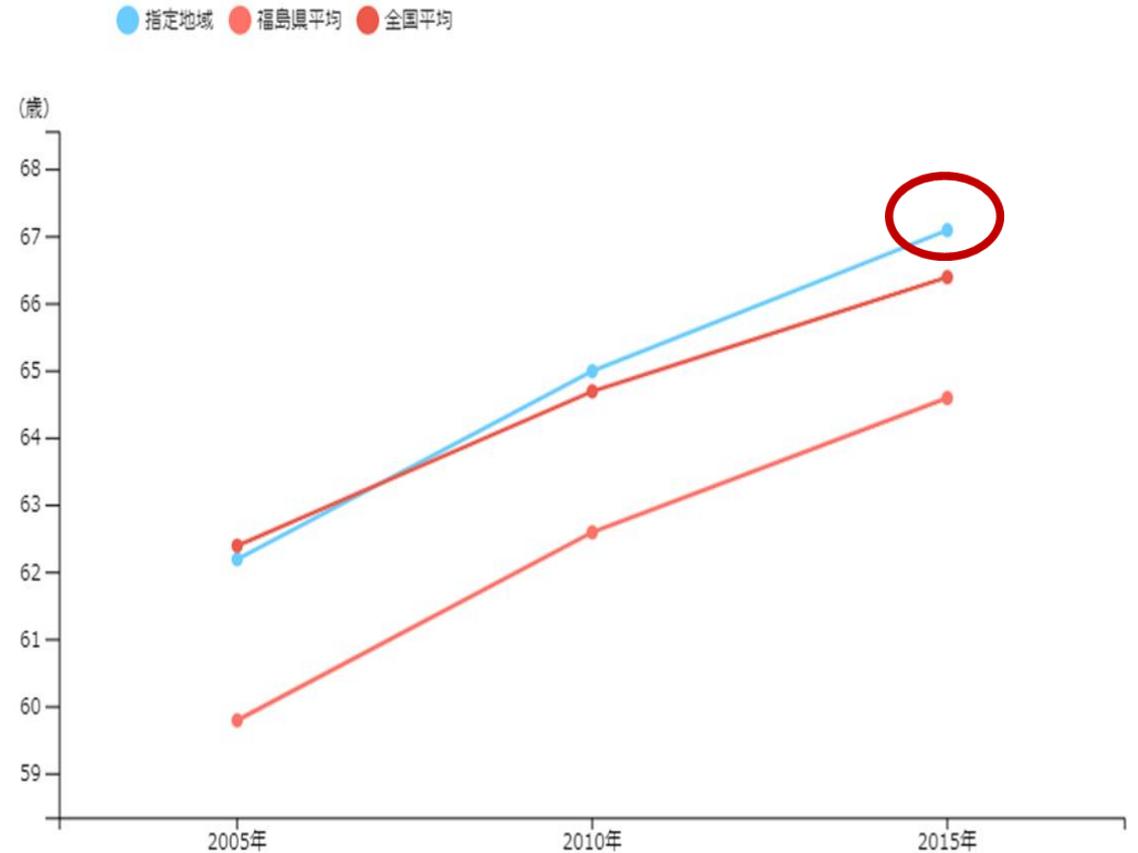
伊達市総合政策課の資料によると2040年には45,000人を切ると推計されている。
→現在より25%減と予想

リースによる 伊達市の農業産出額（総額）



2014年から2015年にかけて立て直したがその勢いは2015年に止まり停滞、そして2016年から2017年やや減少気味

リースによる 伊達市の農業経営者の 平均年齢



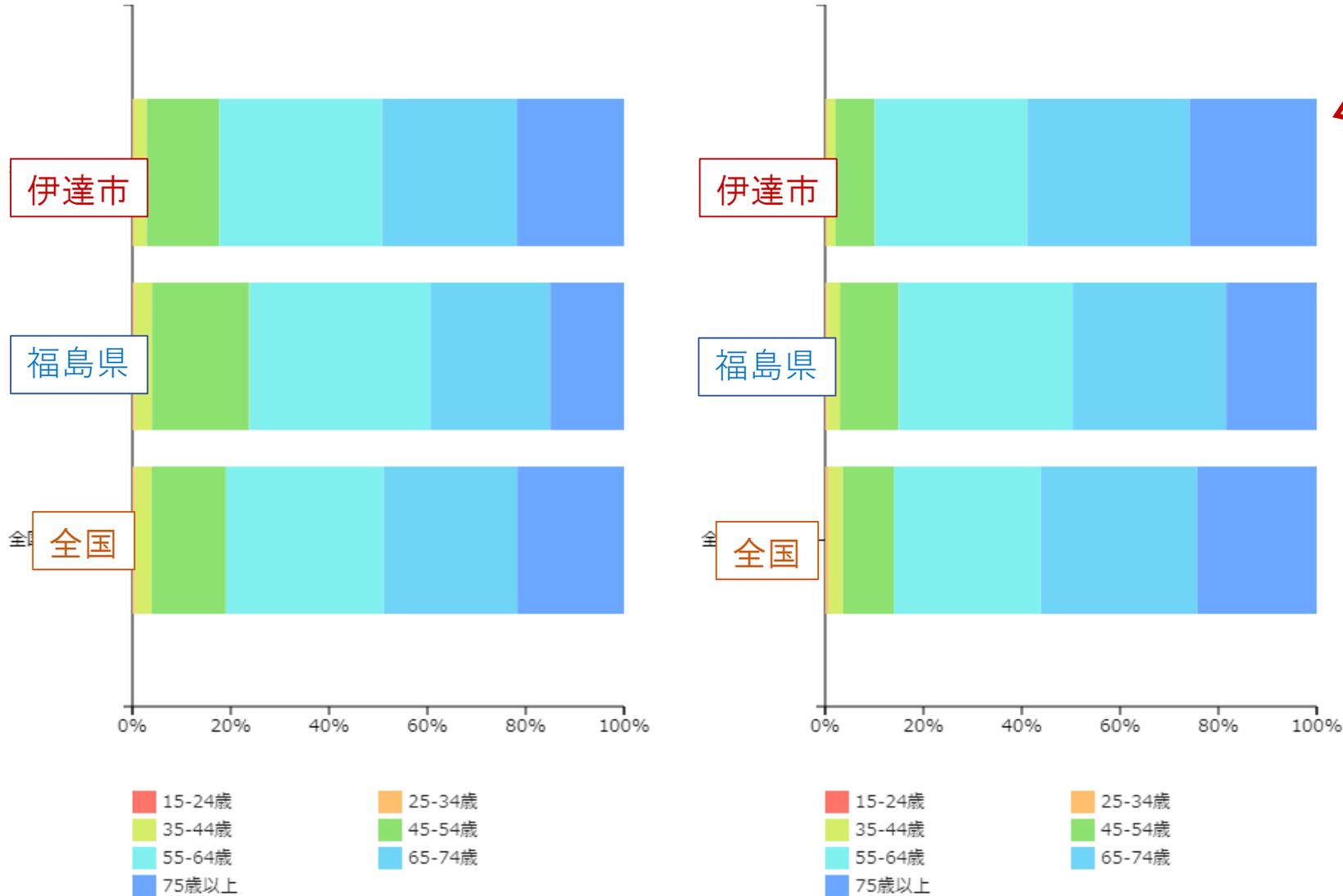
農業経営者の平均年齢は伊達市は平均67歳、福島県平均は65歳、全国平均は66歳。高齢者が農業を支えている

リーサスによる 伊達市の農業経営者の年齢構成

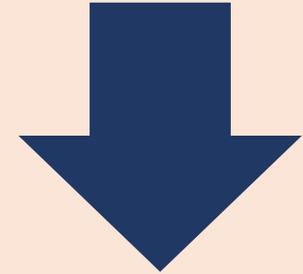
性別：総数

2010年

2015年



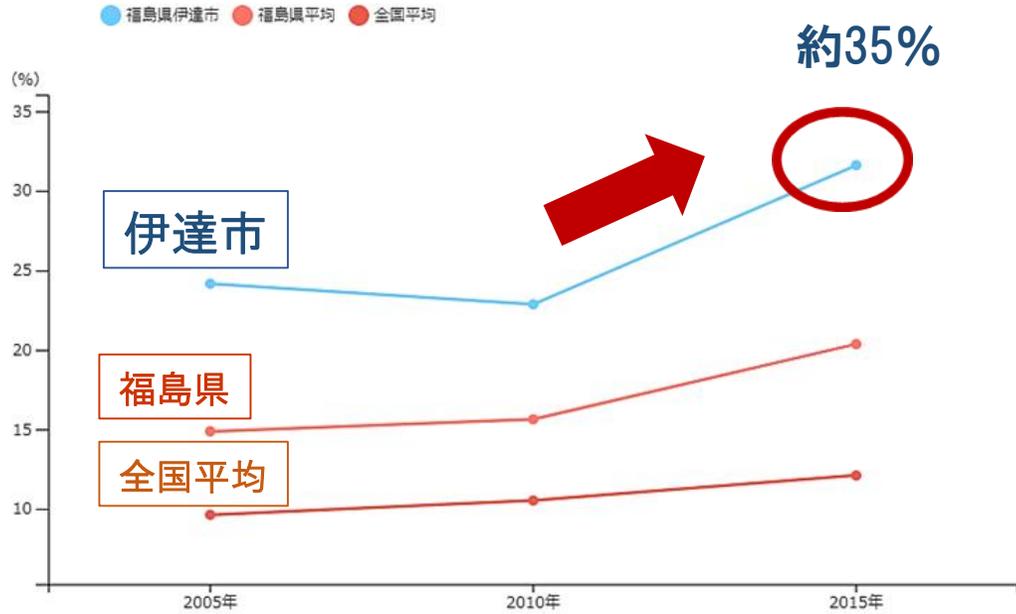
- ・高齢者の農業経営がほとんど
- ・2010年と比べると2015年には若い世代の経営者が減少傾向
- ・県、全国と比べても高齢者の割合が多い



農業経営者の後継者不足が
心配される

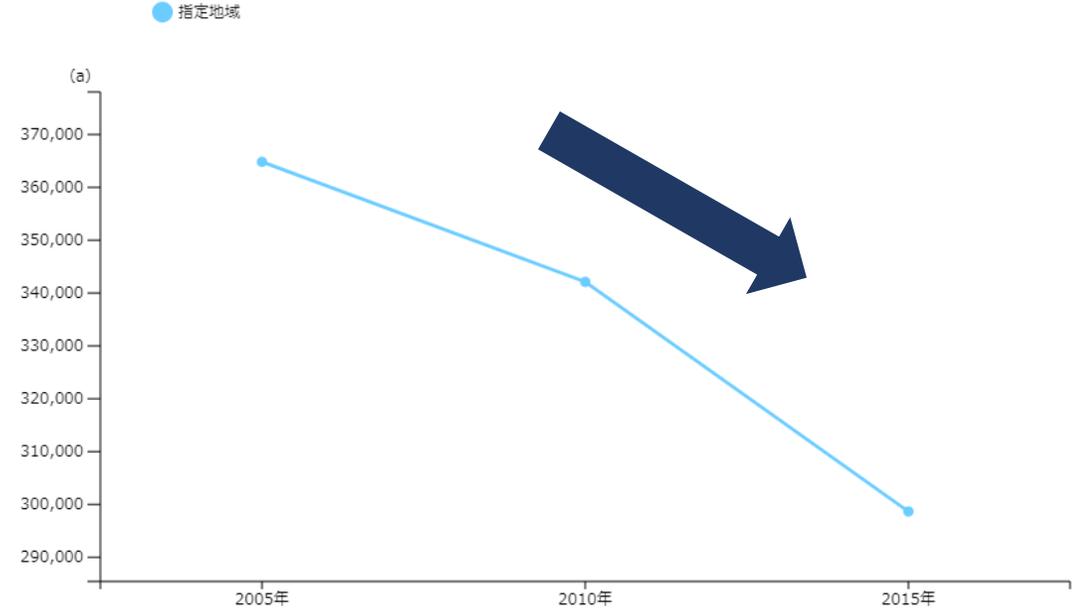
リーサスによる伊達市の耕作放棄地率

耕作放棄地率
指定地域：福島県伊達市



リーサスによる伊達市の経営耕地面積

経営耕地面積（総面積）
指定地域：福島県伊達市
農地区分：すべての農地区分



- ・伊達市の耕作放棄地率が震災前から増加傾向にある → 耕作放棄地が増えている
- ・10年前から県と全国平均を大幅に上回っている

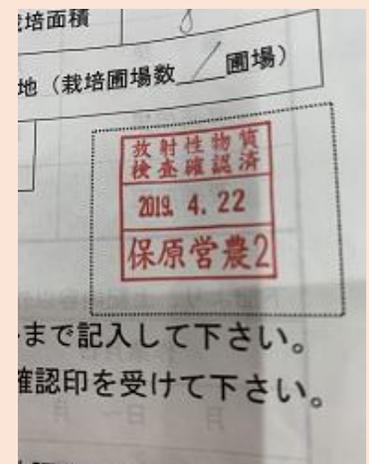
の耕作放棄地面積 + 土地持ち非農家の耕作放棄地面積

【出典】
農林水産省「農林業センサス」再編加工
【注記】
旧市区町村とは、1950年（昭和25年）当時の市区町村。
合算機能において秘匿値が含まれる地域を合算した場合、当該地域の数値は示されません。

伊達市の経営耕地面積は2005年の約370000aから2015年は約300000aと、大幅に減少している

耕作放棄地が増加すると同時に経営耕地面積は減少している

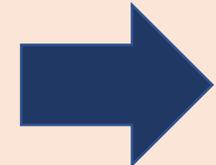
今回のデータをもとに農産物直売所や伊達市役所に直接訪問しお話を聞いた



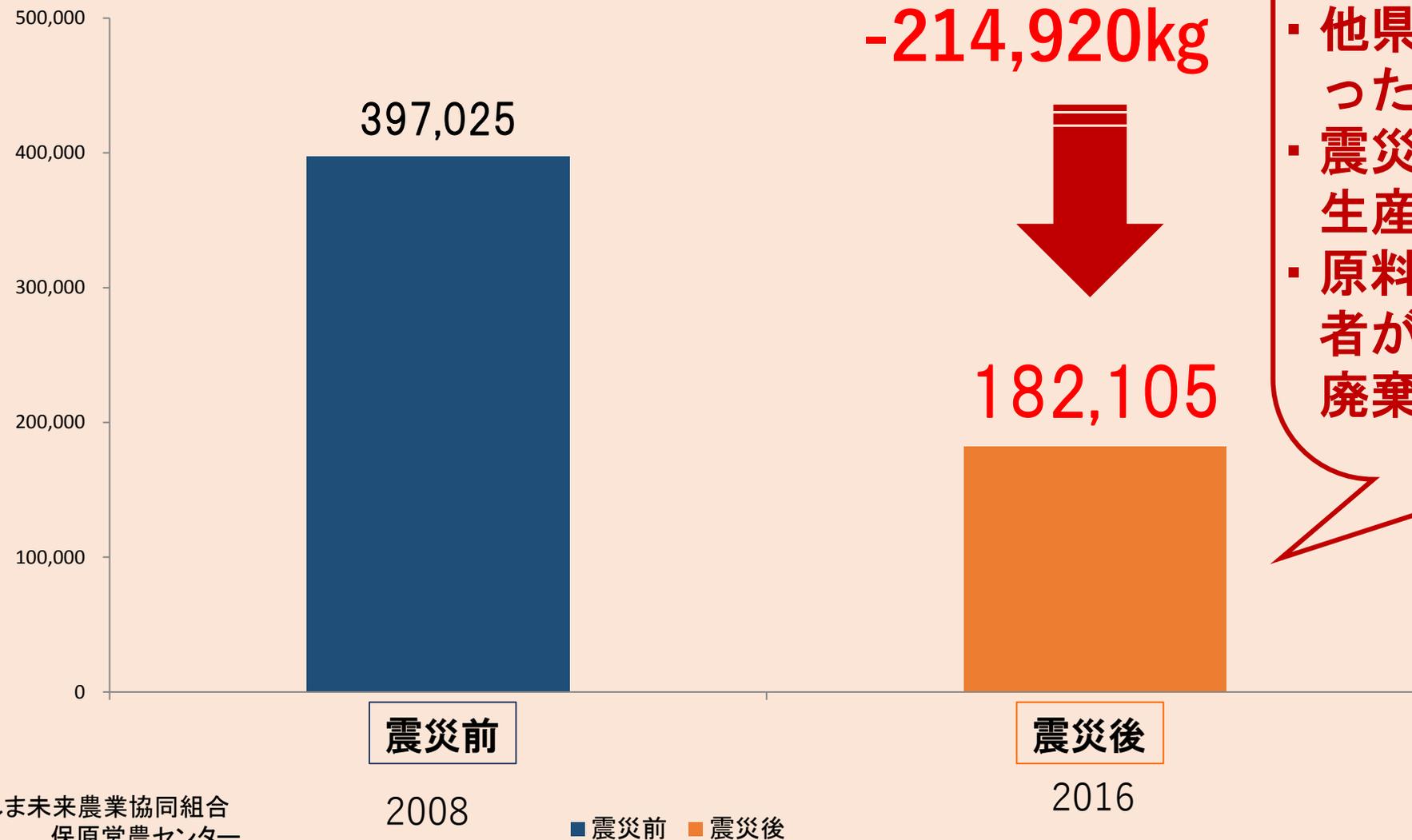
JAふくしま未来では、農産物の出荷前に、**全出荷物の放射性物質自主検査を実施**している。伊達市では、**柿小実の検査**を行い、**ややベクレルが高いものは伐採し、新しい木を植えている。**

検査記録

そして、次のデータをいただいた



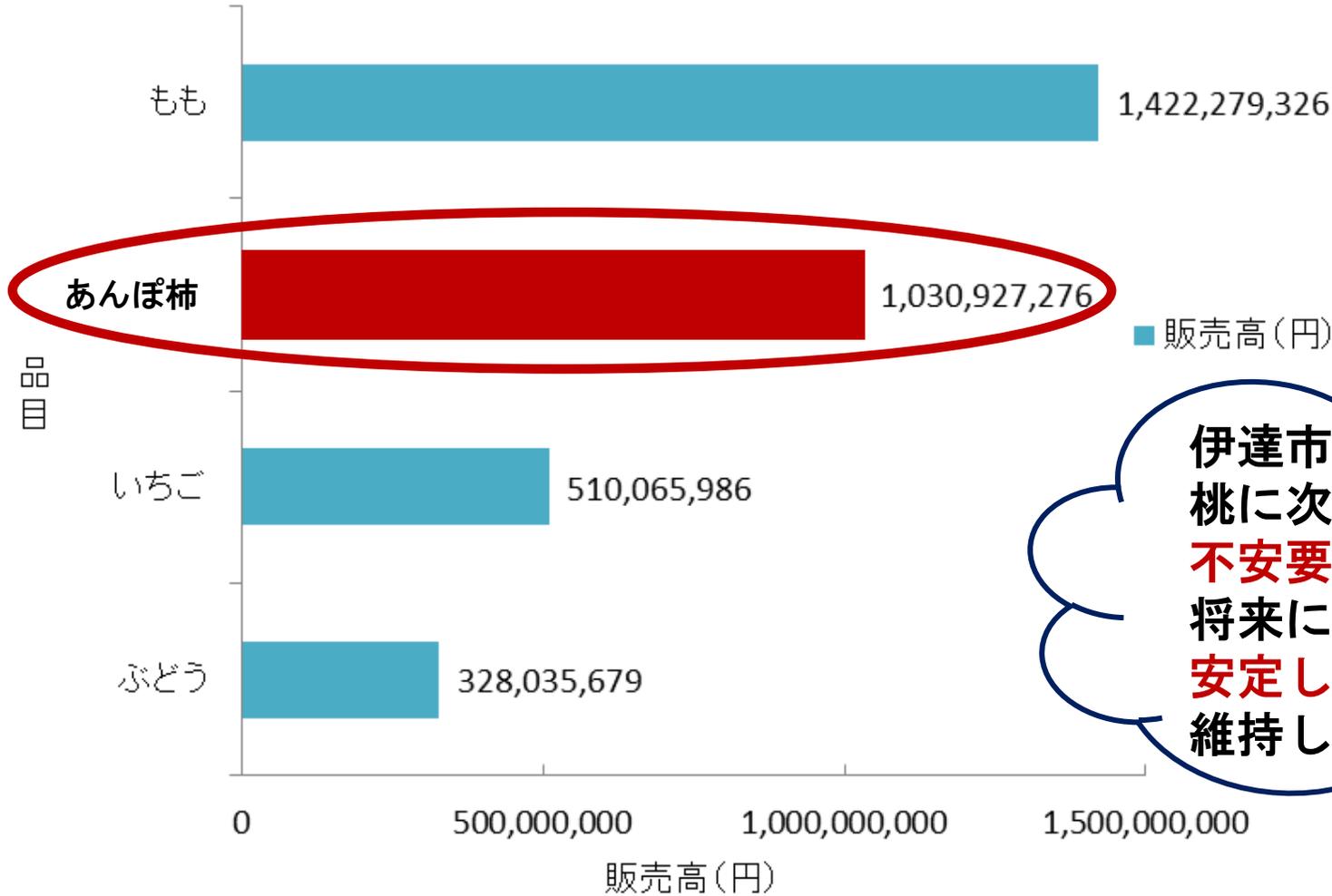
柿の出荷数量の比較 (kg)



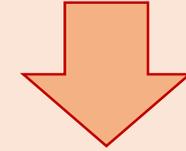
【原因】

- ・ 他県に流通できなくなった（原発事故が原因）
- ・ 震災後に栽培をやめる生産者が多数
- ・ 原料柿を購入する生産者が減ったことによる廃棄の増加

伊達市 果実の販売高(円)



伊達市のあんぽ柿は2011年の東日本大震災の
風評被害の印象が根強く残っている



安全なのにも関わらず売れ行きが
落ち、あんぽ柿の生産者が減り、
渋柿が廃棄処分されている

伊達市の果実売上げで、
桃に次いで**2位のあんぽ柿**が
不安要素を抱えている。
将来にわたって、特産品として
安定したブランドの地位を
維持してほしい。





伊達めがねより

◎アンチエイジング効果

- ・柿の渋み成分「**タンニン**」
- ・「**βカロテン/ビタミンA**」



強力な抗酸化作用！

老化の原因となる「**活性酸素**」
を抑制する働きがある

◎他にも視力回復・疲労回復・美肌・美容
高血圧予防などの効果がある

生産工程で「硫黄薫蒸」をすることで、中身は半生でジューシーに仕上がります。
柔らかく果肉に水分を多く含みます。



あんぽ柿ってスゴイ！！



だてな

そこで、私たちは特産品のあんぽ柿の市場価値を維持・向上させる取り組みを考えました。



さすけねプロジェクト



1. 柿木、農地オーナー制度（だて結オーナー制度）
2. 廃棄生柿・原料柿等の利用（加工製品化）
3. その他（規格外）農産物の再利用

「さすけね」とは…？

福島県の方言で、「大丈夫。問題ない。」
という意味です。



1. 柿木、農地オーナー制度（だて結オーナー制度）

①生産者としてのオーナー制度

柿木や農地を借りてオーナーとなり、1年間農作業を行うことができる制度

- ・ 収穫した農作物はすべてオーナーのもの
- ・ 期間は更新有。
- ・ 複数で行うシェア制度もあり（仕事の合間でもグループで行うことができる）

ノウギョウ
ヤリタイ！！



指導員から栽培法を伝授
施設の貸出
宿泊所の提供
経済面での支援 など

伊達市とJAが支援

本気の外国人や女性大歓迎！！

伊達市の就農支援事業にだて結オーナー制度を追加

新規就農支援の取り組みとして、

柿農家に特化した新規就農者 の育成に力をいれていく。

毎年複数人確保する

伊達市に定着するしくみを作る

農業の担い手を増やすことができる！！



②消費者としてのオーナー制度

柿木を丸ごと1本、または他の野菜・果物の農地を区画単位で契約し、収穫された農産物とあんぽ柿は、配送されて手元に届く制度

- ・伊達市農業の支援という意味もある。
- ・前払い制で、農家の安定した収入源となる。
- ・諸経費は伊達市が予算化する。
- ・運営はJAが行う。
- ・収穫時期においしい農産物を消費者は優先的に手に入れる事ができる。



伊達市に対するファンを増やすことができる！

2. 廃棄渋柿の利用（加工製品化）

◎伊達市の6次産業化推進事業の一つとして廃棄渋柿の加工製品化

～柿渋から日用品～

渋柿から作られる「柿渋」の**防臭効果**を活用し、加齢臭や体臭が気になる人をターゲットにした商品を作る。

⇒**柿渋石鹸・柿渋スプレー・柿渋入浴剤**を作り販売する



～柿渋で感染予防～

柿渋に含まれる柿タンニンを使った消毒液で感染予防ができる。

高い殺菌効果があり、なんと**99%**消失させるとも言われている。

⇒**柿渋消毒スプレー**を作り販売する



3. その他（規格外）の農産物の再利用

⇒ 渋柿だけではなく他の廃棄になる農作物も再利用が可能！

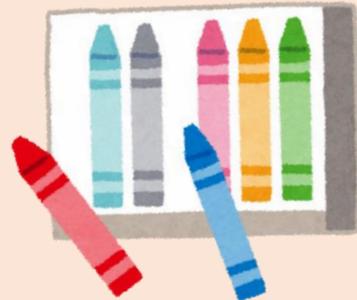
◎乾燥野菜だし

一般的に食べる部分の以外の皮や種、芯などから取れる出汁を利用した「**だし**」。



◎野菜クレヨン・米粘土セット

- 野菜クレヨン
野菜くずと固形石鹼、ソイワックス、蜜蝋などを混ぜ合わせた子供も安全に使えるクレヨン。
- 米粘土
米粉から作られる安全な粘土。



◎柚子モイストポップリ

柚子の皮と塩を利用した芳香剤・入浴剤。香りを楽しみながら心も身体もリフレッシュできる！



これらの加工製品化を実現するために. . .。

伊達市の6次産業化推進事業を更に推進する取り組みとして

『加工専門工場』を作る

- 伊達市の営農センターに建設し
廃棄農作物の加工を行う
- 伊達市が予算化
- JAが運営を行う
- 小さな作業場から始める



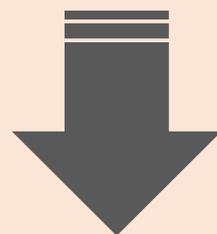
2. 廃棄渋柿の利用（加工製品化）
3. その他（規格外）の農産物の利用

を実施することで

廃棄を減らすことができる

+

廃棄するはずのものに**付加価値が付く**



伊達市の農産物の廃棄を見直す機会になる
伊達市の農業の利益となる



【まとめ】

あんぽ柿はこれから先も沢山の人に愛され、福島県伊達市の特産品として輝き続けます。

- ・ 「桃栗3年柿8年」と言うが本当は柿は実をつけるまで15年必要で、あんぽ柿作りには長い時間が必要。
- ・ 渋柿をはじめ、他の農産物もアイデアひとつで売り上げを伸ばせるはず。

最近、SDGs（持続可能な開発目標）を耳にする。

今回のプロジェクトを通して伊達市が「持続可能な地域」として将来にわたっても発展し続けることを願います。

伊達市で産まれ、伊達市で育ち、伊達市で恋し、
伊達市で結婚して日々笑顔で幸せな人生を送る。
そんな伊達市民でいたい。

「だてのあんぽは
さすけねよ〜！」

